

教育マネジメント機構の設置（令和3年3月1日）

教育をより一層充実させ、社会に求められる人材を養成するため、学生に対してより質の高い教育やよりきめ細やかな支援を行うための組織として、教育マネジメント機構を、令和3年3月1日付けで設置します。

大学教育の「入口」から「出口」までを一貫したものとして構築し直すよう、これまでの組織を発展改組するものです。

【大学を取り巻く状況】

- ◆「大学のユニバーサル化（進学率50%超）」時代には、入学時から卒業時までの学生の伸び、さらに卒業後の成長をも意識した教育の質の向上が求められている。
- ◆DX（デジタル変革）による教育の質向上のための抜本的な組織改革が求められている。

【本学の課題】

- ◆社会のニーズに迅速に対応する教育改革だけでなく、教育の質が担保されていることをステークホルダー（利害関係者）に説明・証明する必要がある。
- ◆現状の質保証は、各担当委員会同士の連携によるところが多く、全学を俯瞰し、入学前から卒業後までの教育・学生支援の内部質保証を担う体制の構築が急務である。

【期待される効果】

- ◆一人一人の学生の入学前から卒業後までの学修状況等の情報を共有・分析して、きめ細やかな指導を行うと共に、大分大学がより一層地域に必要なとされる大学となるための教育改革を強力に推進することができる。
- ◆様々な教育プログラムを継続的かつ俯瞰的にモニタリングし、教育目標を達成するための改善と進化を促す包括的・体系的取組を主導できる。

